

Starting Point ★

「通じやすい」英語の習得を目指して、発音の基本を効率的に学習しましょう。
紹介する発音ルールは、120人のベテラン英会話講師の意見から作成した
「日本語話者にとって難しい」音や要素のランキングのデータに基づいています。

今月の題目

リズム

※主に北米の発音を扱います

このコーナーのお役立ちポイント

◎正しい発音の仕組み ◎口を動かす練習 ◎発音ルールを盛り込んだスキット

▶日本の学習者が特に苦手な音の発音法と聞き取りのポイントを学ぶ

▶自分で声に出すことで、聞き取りの精度を高め、オーラルコミュニケーション力を向上させる

学習日

	日付		
基本をチェック!	/	/	/
耳と口で確認!	/	/	/
スキットで練習!	/	/	/

Starting Point



HM Narration

January's Starting Point breaks in the year with a lesson on some natural English rhythms. So take a few minutes to think less about grammar, and concentrate more on the rhythm of the language. Sound easy? It is!

1月号の「聞き取るための発音入門」は、自然な英語のリズムについてのレッスンで今年の幕を開けます。では、少しの間、文法のことはあまり考えず、言葉のリズムに集中してください。簡単そうですか？ その通り！

基本をチェック！

まずは、今月理解すべきポイントを押さえましょう。

リズムの基本ルール

今月は、英語の聞き取り・発音において非常に大切な、文章レベルでのリズムに焦点を合わせます。日本語では、ほぼ全ての言葉が均等の長さで音で発話しますが、英語の場合、ある言葉はしっかりと発音し、他の言葉は軽く発音するという「緩急」が重要です。基本的なルールを理解し意識を高め、英語のリズムを習得しましょう。

英語では、文章の中で意味を伝える役割を持つ「内容語」は、明確に発音されるストレス（強勢）を含み、その結果、比較的長く、はっきりと発音されます。反対に、重要な意味を持たず、語と語をつなげる役割を果たす「機能語」は、特にその意味を強調したい場合を除いて、強いストレスを含みません。その結果、比較的短く、軽く発音されます。内容語と機能語は、右のように分類されます（かっこ内は語の例）。

<内容語>

- ・名詞 (apple, dog)
- ・一般動詞 (run, stay)
- ・疑問詞 (who, what)
- ・否定語を含む短縮形 (isn't, can't)
- ・形容詞 (nice, pretty)
- ・副詞 (very, always)

<機能語>

- ・冠詞 (a, an, the)
- ・be動詞 (is, am, are)
- ・助動詞 (can, will)
- ・前置詞 (in, at, from)
- ・接続詞 (and, but, while)
- ・代名詞 (she, he, they)
- ・関係代名詞 (which, that)

リズムの特徴

英語リズムのルールに従った結果、長さの異なる以下の1~5の英文が、ほぼ同じ長さで読めます。また、6~10の文章は内容がまったく異なりますが、全て同じリズムを持っています。

※11月号、12月号と同様、本コーナーの英文では、ストレスが強く置かれる順に●、●、●の記号で表しています。

1. Dogs chase cats.

(犬たちが猫たちを追い掛ける)

2. The dogs will chase the cats.

(その犬たちはその猫たちを追い掛けるだろう)

3. The dogs have chased the cats.

(その犬たちはその猫たちを追い掛けてきた)

4. The dogs have been chasing the cats.

(その犬たちはその猫たちをずっと追い掛けている)

5. The dogs could have been chasing the cats.

(その犬たちはその猫たちをずっと追い掛けていたのかもしれない)

6. He doesn't like to study.

(彼は勉強するのが好きではない)

7. She didn't want to help him.

(彼女は彼を手伝いたくなかった)

8. He hasn't finished his homework.

(彼はまだ宿題を終えていない)

9. She bought two apartments.

(彼女はアパートを2部屋購入した)

10. His mom cleaned the carpet.

(彼の母親はそのカーペットを掃除した)

耳と口で確認！

実際に音を聞き、声に出して、今月のポイントを確認しましょう。

M
3

課題 1

Track 3には、左ページ「基本をチェック！」の説明中にある1～10の英文が1回ずつ収録されています。1文が読まれるごとにあるポーズ（間）で、記号で示されたリズムに特に注意しながら、まねて言って（リピーティング*）みましょう。

*リピーティングのやり方についての詳細は、『コースガイド』の15ページを参照してください

M
4

課題 2

Track 4には、以下の文が3回ずつ収録されています。記号で示されたリズムに特に注意しながら、1回目は聞き、2回目は文の後のポーズでリピーティング*をし、3回目は音声にやや遅れるようにしてまねて言って（シャドーイング*）みましょう。

*リピーティング、シャドーイングのやり方についての詳細は、『コースガイド』の15ページを参照してください

1. My mother likes to cook good Japanese food.

（私の母は、おいしい日本料理を作るのが好きだ）

2. I wonder who's singing the song now.

（今、この歌を歌っているのは誰かな）

3. He tried to help John get a job.

（彼は、ジョンが仕事に就くのを助けようとした）

4. I wish I could live in Canada for the rest of my life.

（残りの人生をカナダで暮らせたらいいのに）

5. His dog can swim across the river.

（彼の犬は、川を泳いで渡ることができる）

スキットで練習！

仕上げて、スキットを使って今月のポイントを体得しましょう。

Track 5で、以下のスキットをよく聞きましょう。

英文の上に記号で示されたリズムに特に注意してください。

その後、Track 6で、ポーズ（各文の後と、/がある場合はその箇所）でリピーティングをし、最後に、再びTrack 5を聞きながら、今度はシャドーイングをしましょう。

M
5M
6

課題 3

Everyone speaks English a little differently, especially if it is not their first language. ^① Estimates for the number of native English-speakers worldwide / ^② range from about three hundred million to over four hundred million. Millions more speak English as a second language. Where and at what age each speaker ^③ learned the language can make a difference in how it sounds. ^④ To this end, ^⑤ linguistics ^⑥ professor Steven Weinberger created the Speech ^⑦ Accent ^⑧ Archive. In his database, you can listen to one thousand recordings. The speakers come from countries across the ^⑨ globe / — places like the United States, England and ^⑩ Australia, where English is the ^⑪ primary language, / and places like China, Iraq and Eritrea, where it is not. ^⑫ Being exposed to such ^⑬ a variety of speakers of English / is a very useful way of helping people ^⑭ become aware of just how many ^⑮ variations of English are being used ^⑯ globally.

※このスキットは、2011年7月19日のVOA Newsを基に作成したものです

語注

① estimate 概算、見積もり / ② range from ~ to ... ~から…に及ぶ / ③ to this end この目的のために / ④ linguistics 言語学 / ⑤ professor 大学教員 / ⑥ accent 発音の仕方、なまり / ⑦ archive アーカイブ ★ コンピューター用語で、大量のファイルをまとめて保管してある場所 / ⑧ globe 地球、世界 / ⑨ primary language 第一言語 ★ = first language / ⑩ be exposed to ~ ~に触れる / ⑪ a variety of ~ さまざまな~、多種多様な~ / ⑫ become aware of ~ ~に気付く / ⑬ variation 変化したもの / ⑭ globally 世界的に

誰もが少しずつ違うふうに英語を話します。特に、英語がその人の第一言語でない場合は、英語を母語とする人の数は、約3億から4億超と推定されています。それに加えて多数の人々が、英語を第二言語として話します。それぞれの話者がどこで、何歳の時に英語を学んだかによって、その聞こえ方（発音）に差が生まれる場合があります。これについて、言語学の大学教員であるステイブン・ワインバーガー氏は、スピーチ・アクセント・アーカイブを作成しました。彼のデータベース上では、1000件の録音を聞くことができます。話者たちは世界中のさまざまな国の出身です——アメリカ、イングランド、オーストラリアなど、英語を第一言語とする国々や、中国、イラク、エリトリアなど、そうではない国々です。こうした多種多様な英語話者に触れることは、世界でどれほど多くの種類の英語が使われているかに気付くための非常に有効な手段なのです。

Coach



斉藤一弥（早稲田大学講師）

長年の海外生活で私の日本語（特に「ら」「は」「さ」行）が英語っぽい発音になったと指摘が。生涯にわたって行われる言語習得は奥深いですね